

## 領域別分科会報告者一覧

	分科会テーマ	報告者レポート	◎司会 ○記録
		(1) 東日本地区 (2) 近畿地区 (3) 西日本地区（近畿を除く）	
第一分科会	〈教育内容・カリキュラム〉 多様な夜間中学生に向き合い、実態に即した教育課程やカリキュラムをはじめ、取り組まれた教育内容等、「夜間中学のめざすべき学び」について考える。	(1) 札幌市立星友館中学校 西村 俊貴 生徒の学びを支える取組 (2) 大阪市立天満中学校 米澤 尚志 「教育課程編成の実践と課題」 ～学齢経過者の〔特別の教育課程〕の活用～ (3) 福岡市立福岡さぼろ中学校 安部、木村 公立夜間中学におけるインクルーシブ教育の推進 ～3段階の学校生活適応システムの充実を通して～	◎笠松 秀幸 (天満) ○山川 和記 (天満)
第二分科会	〈学校行事・生徒会活動・特別活動〉 学校行事、生徒会活動、昼の学生や地域との交流等の特別活動の実践を交流し、夜間中学生がともに学び、いきいきできる学校生活の創造を考える	(1) 荒川区立第九中学校 歳納 隼人 東京都夜間中学校研究会生徒指導部の取り組み ～多様な生徒の交流を通じた共生社会の実現に向けて～ (2) 神戸市立兵庫中学校北分校 源 香苗 「学校行事への取組」 (3) 広島市立二葉中学校 西田 倫子 「二葉中学校夜間学級の取り組み」	◎杉村 甲午 (兵庫北) ○宮本 善孝 (兵庫北)
第三分科会	〈人権教育・平和教育〉 今まで積み重ねてきた一人ひとりを大切にす夜間中学校の学びを継承し、各校で取り組まれている人権・平和に関わる学習について交流し深化をめざす。	(1) 足立区立第四中学校 須田 登美雄 「被爆の体験を聞き平和の尊さを学ぶ」 (2) 岸和田市立岸城中学校 中原 寿男 「『ヒロシマ』へ」 (3) 長崎地区佐世保市立祇園中学校 川上 知洋 「手話学習を通して広がる世界 ～共に感じた「学ぶ楽しさ」～」	◎柏野 律子 (春日) ○小出 恭平 (殿馬場)
第四分科会	〈多文化共生教育・在日朝鮮人教育〉 差別の厳しかった日本社会を生き抜いた在日の人々の思いに向き合う在日朝鮮人教育より発展し、中国からの引き揚げ帰国様々な地域からの新渡日者も含め、一人ひとりのアイデンティティーを大切にし、互いに尊重し認め合う多文化共生の教育実践を交流し、深化をめざす。	(1) 江戸川区立小松川中学校 桑原 博行 「制度的エージェントとしての教員と夜間学級」の存在 (2) 大阪市立東生野中学校 新田哲士・山中芳江・平山まり子 東生野中学校夜間学級での人権学習 一朝鮮通信使から学ぶ	◎上野 夏海 (東生野) ○吉岡 良子 (東生野)
第五分科会	〈増設・教育条件・啓発活動〉 夜間中学の増設に向け、「教育機会確保法」の制定後、いかにして増設を成し遂げていくのか、全国の取り組みを交流して、その道すじを考える。	第五分科会では報告者やレポートは募集せず、「就学援助制度」「新渡日生徒の進路保障」の2つのテーマについて第五分科会に参加された方で議論をし、公立・自主を問わず、各地の報告や意見を交流します。	◎大家 幸子 (豊中四) ○津田 達子 (豊中四)